

# 「第3回 アルコール問題のある人への簡易介入研修」

～アルコール問題への早期介入・支援の輪を地域で広げよう～

厚労省モデル事業「地域連携等による依存症早期発見・早期対応・継続支援モデル事業」

泉州スマイル・SBIRTS（大阪府委託事業）

Screening	アルコール問題をふるいわけ
Brief Intervention	短時間での簡易介入（減酒支援）
Referral to Treatment	専門医療機関へ紹介
Self-help group	自助グループにつなぐ

日時：2023年7月26日(水) 18:00～19:00

開催方法：Web講習会(Zoom ウェビナー)

- 内容：1. 「アルコール問題のある人への簡易介入、  
泉州スマイル・SBIRTS 事業・介入ツールの説明」  
和気浩三(新生会病院 院長)
2. 「保健所でのアルコール相談の実際」  
杉谷雄二(大阪府泉佐野保健所 精神保健福祉相談員)
3. 「体験談・支援員紹介」  
松井直樹(大阪府断酒会 代表理事)

対象者：医師・看護師・ソーシャルワーカー・保健師 等

お申込み：下記 URL または QR コードよりお申し込みください

[https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN\\_KLGbnYQ2SK-Bpo1wNqalmA](https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_KLGbnYQ2SK-Bpo1wNqalmA)



参加費：無料

## \*本研修会は大阪府医師会生涯研修制度認定研修です\*

アルコール依存症は、治療が困難な一方、適切な治療や支援を受け、断酒が継続されることで回復（従来の日常生活を送ること等）が可能な精神疾患です。他方、依存症の特徴として、本人は病気が進行しても自認しにくく、自ら専門治療に結びつきにくい状況にあります。アルコール依存症の生涯経験者数は推計で50万人台～100万人台であるのに対し、アルコール依存症の受診者数は約10万人（外来）、約2万人（入院）と乖離があるなど、多くの方が支援を必要としつつ、適切な支援につながない問題（治療ギャップ）が指摘されています。本事業では、この治療ギャップを改善するために、泉州2次医療圏で一般医療機関と専門医療機関、保健所等の関係機関、自助グループ等とのより良い連携づくりを目指しています。

\*この事業は新生会病院が大阪府から委託を受けて行っています\*

お問い合わせ先 医療法人和気会 新生会病院 医療福祉相談室  
TEL 0725-53-1222(代表) FAX 0725-53-1224(相談室直通)  
e-mail shinseikai-soudanshitsu@mbr.nifty.com